

2022年9月21日

福島県議会議長 渡辺 義信 様

福島県革新懇

代表 佐藤政男

みんなで新しい県政をつくる会

共同代表 井上 裕子

日本共産党福島県議会議員団

団長 神山 悦子

憲法違反の「国葬」への参加中止、
統一協会とその関連団体との関連について、議会の自浄能力を發揮し、
すべての県議会議員の調査・公表を求める申し入れ

現在、国会でも地方議会でも、反社会的カルト集団である統一協会とその関連団体と政治家・行政とのつながり、癒着が次々と明らかとなり批判が広がっています。政治家が反社会的集団の広告塔となり、被害を拡大し政治がゆがめられてきました。

「朝日」新聞がおこなった「世界平和統一家庭連合」（旧統一協会）との関係を全都道府県議に尋ねたアンケートでは、福島県議 10 人（全員が自民党）が教団や関連団体と関わりがあったことを認め、このうち 9 人が追加の取材に応じ、具体的な接点を明らかにしたとの報道がなされています。議長自ら統一協会との関わりを明らかにするとともに、今こそ、議会として自浄能力を發揮すべきです。

一方で政府が国会にもはからず、安倍晋三元首相の「国葬」を行おうとしていることへの国民の批判は、岸田首相の閉会中審査での説明以降さらに広がっています。マスコミ各社の直近の世論調査（17、18日）で、「国葬に反対」が、「毎日」62%、「産経FNN」62.3%、「日経」60%、「共同」60.8%と、反対が多数にのぼっていることから明瞭です。

安倍氏への「弔意」や「敬意」を強制する「国葬」は憲法上の規定はなく、統一協会の広告塔となった人物に対して「敬意」の強制は絶対にあってはなりません。議長は国葬に公務として参加するとしていますが、議会を代表して参加することはやめるべきです。

記

- 1、議長は、安倍氏の「国葬」への参加を中止すること。
- 2、県議会として、すべての県議会議員を対象に、統一協会やその関連団体とのかかわりについて調査し、結果を公表すること。

以上